



Microsoft Formsを利用した、担当による意見集約

学年	全教員
教科・領域	校務
ICT機器やアプリ名等	<ul style="list-style-type: none"> ・校務用パソコン ・Microsoft Forms

ICT活用のポイント

- ・紙でのアンケートに比べ、「アンケート用紙の印刷」→「用紙の配布」→「用紙の集約」→「担当による打ち込み」→「印刷・配布」の工程がなくなることで、業務の改善につながる。
- ・オンラインのアンケートは、回答者が回答しやすいように、二次元バーコード等に変換するなど工夫することで、回答までの時間の短縮や回答率の向上が期待できる。

○紙での集約からパソコンでの集約へ

「校内ネットワークとクラウドの活用」

本市の校務用パソコンは校内のほとんどの場所から校務用SharePoint(これまでの共有フォルダ)やインターネットへのアクセスが可能となった。

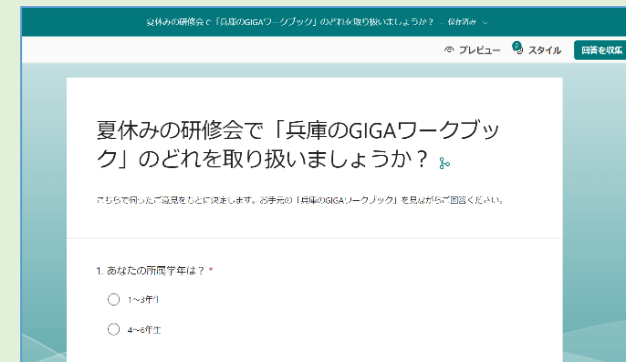
その利点を生かし、校内のどの場所で学年協議をしていても、場所に関係なくPCを使って協議内容を作成・共有ができる。

これにより、データの出し忘れや受け取りの齟齬が極めて減少し、ストレスなく校務が行うことができた。

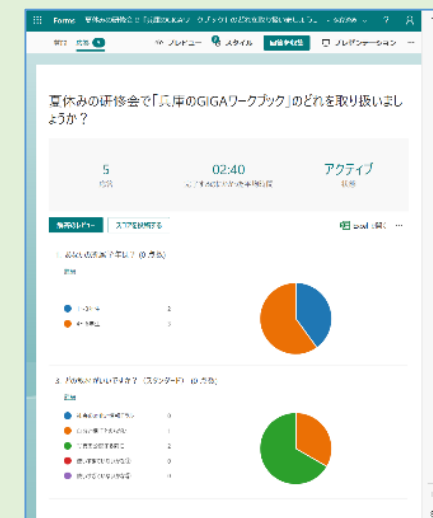
「習うより慣れよ」

まずは校務で使ってみることで、利便性などを肌で感じてもらい、その経験をもとに授業で活用するアイデアにつなげてもらえればと考えている。

Formsの利用は、まず推進教員がFormsを作成し、各担当に便利さを実感してもらいながら作成方法も覚えてもらっている。



MicrosoftFormsの回答画面



回答結果の集約画面

「 Å & - ICT 活用」

U	M (
M&ÉG%8• æ	/ »
ICT μ pG G0GeGx j'¼	í / »#Ý Ã - ¥ å í Microsoft office

ICT 活用

- ・ファイルの協働編集ができる設定(条件)を知る。
- ・同時に編集できるので、他者の入力を待つ必要がないことを確認しておく、作業がスムーズに進む。

E• >)...7ÿ μ+ G" QFóFïF,0ðFç œFÔFúFÜG 6 ÛFû0° °G%o ÿ G
 G%oG}GŠGWG G6G=GIGyFp >)...7ÿ μ+ G" QFÔF,
 "á ìG" WG F¹
 D Û °FðG G
 t œFëG"FçFúFÜG /²#Fp ÿ GG ²0[!8oFp
 •'¼FÜGxG0GyGMG2GnF÷ ìFû/œFÖFãFøFÜF÷
 FÝG F¹
 → e i 8Fp ì6ëFp%.)°
 D / ÆF÷Fp v) Fp o%,
 0ðFç œFÔFúFÜG GxG0GyGMG2GnF÷FíG FîG Fp
 ÇFÜ ° ŠFéG FãFøF÷F, "á ìFÜ WG F,0 XFp
 Û °FÜ ìFû ìFÝ3,G FÜF÷FÝG FãFøF÷F,GGGVGz
 GGFúFßF,G Fï 8 B ì6ëG" ± œFû P öF÷FÝG F¹
 → / »Fp pF÷ "áG Fß)...7ÿ 8 FÜF÷FÝG Fã
 FøF÷F, 5 Fp pF÷ q#ÝFéG G0G2GUG1G0FÜ#Ö
 G G FöFßG F¹



教職員間連絡ツール（LINE WORKS）を活用した教員間の情報共有

学年	教職員
教科・領域	—
ICT機器やアプリ名等	・ LINE WORKS

ICT活用のポイント

- ・ネットワークに接続していれば、校内外を問わず、教職員間で簡単に情報を発信、共有することができる。
- ・テキストだけでなく、即座に画像や動画、PDFファイルなどのデータを共有することができるので共有漏れ等の心配がなくなる。
- ・教職員の私物スマホを活用することになるので、個人情報取り扱い等の課題を明らかにすることが必要である。
- ・災害時等の緊急連絡手段に期待できる。

○スマホを活用した教職員間の情報共有

- ・私物スマホを活用し、簡単に情報共有を行うことができる。
- ・メモ（アナログ）からデジタルへ移行することができる。
- ・SNSと同様に、必要なグループ（保健室や別室（不登校）、特別支援等の担当と、学年・管理職）の情報共有が可能になる。
- ・従来のLINEと別アプリにすることで、教職員のプライベートと切り離すことができる。
- ・学校のネットワークが遮断される災害時や緊急時の連絡手段として活用が期待できる。



学校で活用しているLINEWORKSの実際の画面

